

# Kuhnau : Tristis est anima mea

## 逐語訳および口語訳

1 P.4

P.5 15

Trístis est ánima méa úsque ad mórtem;  
悲しく、憂鬱である 魂は 私の<sup>1</sup> 常に へ(向かい) 死

31

sustinéte hic et vigiláte mécum.  
イ ジ  
耐えよ<sup>2</sup> ここで & 目覚めている 私と共に

私の<sup>1</sup>魂は死にそうなほどに悲しい。  
ここで頑張っ<sup>2</sup>て、私と共に目を覚ましていなさい。  
(マタイによる福音書 26:38)

53 P.6

60 P.7

Jam vidébitis túrbam, quae circumdábit me,  
ヤ ケ チ  
さあ あなた達は見るだろう 群衆を (who) 取り囲む 私を

70

vos fúgam capiétis.  
あなた達は 逃亡を するだろう

85 P.8

Et égo vádam immolári pro vóbis.  
& 私は 行こう 生贄にされるため のために あなた達

間もなく、あなた方は<sup>1</sup>私を取り囲む群衆を見て、  
逃げ出すでしょう。  
あなた方のための犠牲になるために、私は行きます。

1 「私」はイエス・キリスト、「あなた方」はペトロを初めとする弟子たち(うちの3人)を指す。  
この場面は、最後の晚餐 オリーブ山に行き、イエスがペトロに「明日の朝鶏が鳴くまでに私を知らない  
と3回言うだろう」と預言する という話の直後、一行でゲッセマネという場所に行き、イエスが弟子のう  
ちの3人を伴って祈りを挙げるエピソードの場面。最初の2行は実際の聖書の言葉であるが、残り3行は  
聖書にはない。言いつけにも関わらず眠ってしまった弟子たちにイエスが声を掛けているところに、イエス  
を売るために裏切り者ユダが近づいてくる。

2 新共同訳聖書では「ここを離れず」。sustineo は「耐える、支える」というニュアンスが強いため、このよう  
に訳した。

2005.2.2

Author : Michiko KAWATA (A)